

対イラク緊急無償資金協力 「移動式変電設備整備計画」の完了について

平成18年4月21日
外務省経済協力局無償資金協力課

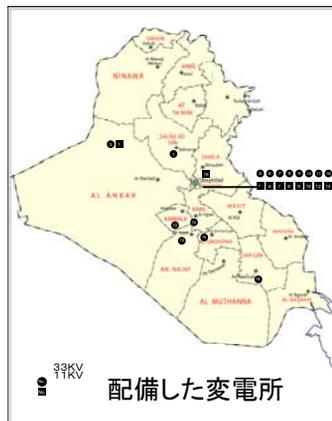
イラクの電力事情を改善させる大規模プロジェクトの一つが完了しました。

プロジェクトの概要

- ・イラク全土の21変電所に、高電圧(132KV)から地域配電用電圧(33KV又は11KV)への変電を行う23台移動式の変電設備を供与するプロジェクトです(総額約79億円)。
- ・23台のうち2台がサマーワへ配備されました。
- ・移動式の設備であるため、短時間での整備が可能であると同時に、今後の復興の進捗状況により必要な場所に移動させることができます。



変電設備



33KV
配備した変電所

プロジェクト完了までの経緯

- 03年10月 イラク復興のための当面の支援として約15億ドルの無償資金協力を表明
- 04年3月 イラク電力省より本プロジェクトの要請を受ける
- 04年3月 本プロジェクトの実施を閣議決定
- 04年7月 イラク電力省との間で実施の合意文書に署名(製造開始)
- 05年10月～06年3月 移動式変電設備の輸送



コンボイの様



据付作業の様

輸送・据付の完了

昨年10月、首都バグダッドのラシーディヤ変電所にて輸送・据付が完了したことを皮切りに、次々各サイトに向け機材が輸送され、順次据付が完了しました。



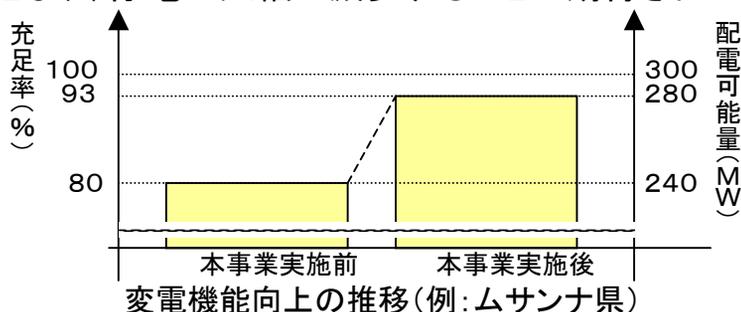
サマーワでの供与式
(発電所の事業開始式とともに)



据付完了した移動式変電設備

期待される効果

本プロジェクトにより整備された変電設備により、イラク全土で約460MVA（一般家庭の約23万世帯、約130万人分）の配電ができる設備が整えられました。イラクでは、配電設備の老朽化やメンテナンス不足等により、停電が発生していましたが、本プロジェクトの完了により、より安定的かつ効率的な配電が可能となり、停電が大幅に減少することが期待されています。



他のイラクへの電力支援

我が国はこの移動変電設備プロジェクト以外にも、サマーワ大型発電所建設計画(約127億円)を始めとして、タジ・ガスタービン発電所復旧計画(約72億円)、モスル・ガスタービン発電所復旧計画(約45億円)、モスル水力第一発電所復旧計画(56億円)と様々なイラクへの電力分野に対する支援を行ってきています。

また、3月28日には、アル・ムサブ火力発電所改修計画を実施するために必要な円借款(供与限度額367億6400万円)を供与する意向をイラク政府に正式に伝えたところです。

これらの発電所への支援と今回の変電設備への支援が相まって、今後、イラク復興がさらに前進することが期待されます。